

全国高校バスケ きょう開幕

光星男女、柴田女子いざ



全国大会初勝利を目指し、公式練習に汗を流す
八学光星の男子メンバー22日、東京体育館

バスケットボールのウインターカップ第75回全国高校選手権は23日、東京体育館などで開幕する。青森県勢は男子が八学光星、女子は柴田と八学光星が出場。開幕前日の22日は3チームが同体育館で公式練習に臨み、本番に備えた。女子2チームは23日、男子の八学光星は24日に初戦を迎える。県予選(10月22、23日)では男子が八学光星、女子は柴田が優勝、八学光星が準Vだった。例年は男女1チームずつに全国大会の出場権が与えられていたが、今夏の東北大会で柴田が優勝し、青森女子の出場枠が一つ増枠となっていた。本番では女子の八学光星が聖カタリナ(愛媛)、今夏の全国高校総体8強の柴田は徳山商工(山口)、男子の八学光星は桐光学園(神奈川)とそれぞれ1回戦でぶつかる。22日は3チームが軽めの調整で汗を流した。八学光

星男子の佐々木彰彦コーチ(台で初白星を狙う。古澤然はチームの仕上がりについて、「けが人もなく、いい状態で大いに臨める」と強調。男子は「まだ全国大会での勝利がなく、今回は夏冬通じて9度目の全国の舞

主将は「光星男子の初勝利は自分たちがつかむ。リバウンドと速攻を徹底して勝ち切る」と意気込んだ。女子の八学光星が対戦する聖カタリナは今夏の四国大会を制した強豪。小野寺實コーチは「相手はシュート力があるチーム。粘り強く守って、走って、チャンスをもたにして、接戦を制したい」と力を込めた。

(上村公悟)